

# 麓山の杜 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL 924-2194 FAX 924-2195

## 【グランプリ受賞おめでとうございます】

今年7月の世界最大の国際写真コンテストで、何と郡山市在住の「野口 勝宏」さんが、日本人としては初のグランプリを受賞しました。震災をきっかけに「福島の花」を撮影してきたそうです。花や自然は、私たちの心を癒し元気してくれます。

これが、受賞作品「福島の花」です。

(野口勝宏オフィシャルサイトより抜粋)



## ▲ 9月のみどり講習会 ▲

日時：9月13日(日) 10:00~12:00

場所：とんがりふれあい館(交流施設)ホール

内容：①記念樹の育て方初歩講座

②季節のワポ イトドバ イ

(秋に植え替え適期を迎える植物について)

対象：記念樹申請者、受講希望者



## ガーデニングポイント

**【水やり】**梅雨明け後からの高温乾燥は、植物にとっても大きな障害となりました。街路樹のツツジ類などは葉が赤茶色に変色しているのを見かけます。根の張りの浅い物は、乾燥するとすぐにしおれてしまうので、根に届くように樹冠(木の上のほう)からたっぷり水をあげてください。これからは午前あげるようにします。

**【肥料】**多くの樹種は、この時期には必要ありません。夏咲きの樹木や生垣樹木は追肥をします。

**【病害虫防除】**例年、この時期アメリカシロヒトリ2回目の発生をみます。皆さんの周りではどうですか? このようなイモムシ類(ケムシ)は、発生初期に拮がらないうちに退治します。夏咲きのムクゲやサルスベリそしてモチノキには、アブラムシやカイガラムシが付いているのを多く見かけます。そのままにしていると「すす病」が併発し、とても酷い状態になってしまいます。そして「うどんこ病」がサルスベリやハナミズキなどには出ています。葉の表面に、白い粉がふいた様になり秋まで発生します。どちらも病気が進むと早期に落葉し、樹勢が弱ってしまう事もあります。カエデ類は、カミキリムシの被害を受けて枝枯れも多く見かけます。退治しにくく致命傷となってしまう事がある害虫です。今年もマツ枯れが多く発生しています。特に高温乾燥が

## 異常な高温乾燥で植物も弱っている

続いた影響で樹勢が落ち、被害が広がる可能性があります。山林のマツばかりでなく。庭に植えられているものまで被害が出ています。マツノマダラカミキリとそれに寄生しているマツノザイセンチュウによって起こる病気です。スミチオン乳剤などを定期的に散布しておく、カミキリムシの飛来が少なくなると思われます。また日頃から管理をして、樹勢が落ちないようにしておく、ザイセンチュウの侵入が抑えられるようです。枝を切った時にヤニがすぐ出てくるのが元気の証拠です。

【下の写真】は、松枯れの状態です。



**【剪定】**常緑広葉樹は、次の新芽が出るように早めに剪定をします。また混み過ぎた内側の枝や徒長枝を切ることで、風通しを良くして病害虫の防除をします。常緑樹は、次の新芽が出るように剪定をします。また、

落葉樹は徒長枝の剪定にとどめます。これからの時期の光合成が冬への蓄えとなります。

【植え替え】これからの時期は、常緑広葉樹の植替は可能です。落葉樹、針葉樹は早すぎます。



【10月 みどり講習会日程】

タイトル	日時	内容	場所	定員
みどり講習会 記念樹の育て方初歩講座	10月18日(日) 10:00~12:00	・エコ活動 「腐葉土の作り方」について	とんがりふれあい 館ホール	・記念樹の申請者 ・受講希望者

【秋の七草】

皆さんは、すべて解りますか？

萩、薄、桔梗、撫子、葛、藤袴、女郎花です。

春の七草は「七草粥」で食べる楽しみですが、秋の七草はその花を見て楽しむことが目的です。そのひとつのフジバカマは、開発の為に激減しています。同じようにキキョウ、ナデシコ、オミナエシも自生種を見かけなくなりました。ススキやクズは、繁茂しています。以前には、里山で普通に見る事が出来た植物が消えさろうとしています。秋の夜、万葉集で詠まれた花に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

「女郎花 (オミナエシ)」



【街で見かけた植物】

【サルスベリ (百日紅)】 (ミソハギ科)

この時期に赤・ピンク・紫・白などの花を咲かせている落葉広葉樹です。寺社仏閣などにはとても大きな木を見かける事もあります。中国南部原産の亜熱帯育ちの樹木です。その為に春の発芽がザクロやネムノキなどと共に遅いです。樹皮はなめらかでそこからこの名前がつけられたようです。今年に伸びた枝の先に花がつくので、春先に強い剪定を行うとより花の量が増えます。ただ管理の仕方でも書いているように、アブラムシやカイガラムシが付きやすく、すす病で黒くなっているものも多く見かけます。



\*\*\* みどりのつばやき \*\*\*

今年の梅雨明け後からの高温は何?? 今夏は、熱中症で病院へ運ばれる人の多さに驚きでした。日陰のない焼けたアスファルト舗装の道路を歩くと、足元からのムツとする照り返しの暑さにまいりましたが、それでも街路樹の下は、格段に気温が違い生き返るくらいのホツとできる場所になりました。同じ炎天下の中、園内の芝生の上を歩いてみるとアスファルトのような照り返しがなく、涼しさを感じました。“緑”がある環境って、この地球上に住む生き物すべてに優しく必要なものだと思っただけの日でした。

